

人権コラム 心、豊かに

◆スポーツだけではない「オリンピズム」

7月23日から8月8日まで開催された東京オリンピック。コロナ禍という厳しい状況の中で日本も多くのメダルを獲得し、日本中が大いに盛り上がりました。皆さんはそんなオリンピックのあるべき姿を示した「オリンピズム」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。

国際オリンピック委員会（I O C）によって採択されたオリンピズムの根本原則、規則、付属細則などを記載した“オリンピック憲章”の「オリンピズムの根本原則」では、「オリンピズムは肉体と意志と精神の全ての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。」と定められています。その他にも、オリンピズムの根本原則の中には「オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである。」や「このオリンピック憲章の定める権利及び自由は、人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。」といったことも定められています。

このように、「オリンピズム」とはスポーツを通して、アスリートに関わらず全ての人が大切にすべき考え方といえるのではないのでしょうか。

オリンピックは終了しましたが、9月5日までパラリンピックが開催されています。パラリンピックの選手たちを応援するとともに、4年に1度のこの機会に自分なりの「オリンピズム」について考えてみてはいかがでしょうか。